

学校における感染症対策

○可能な限り感染拡大のリスクを低減させながら、教育活動を行います。

佐倉市立小竹小学校

<p>健康観察について</p>	<p>○家庭にて、「健康観察カード」による健康観察を行い、発熱や症状ある場合には、自宅で休養させます。</p> <p>○「健康観察カード」の確認と、登校後の健康観察により、発熱や症状のある場合には、早退、自宅休養させます。</p> <p>○同居の家族に症状がみられた場合は、学校へ相談してください。</p>
<p>手洗い等について (接触感染対策)</p>	<p>○石けんを使用した丁寧な手洗いを指導します。</p> <p>○手洗いの「6つのタイミング」を指導します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外から教室に入るとき（登校したら、まず手洗い） ・咳やくしゃみ、鼻をかんだとき ・給食（昼食）の前後 ・掃除の後 ・トイレの後 ・共有のものを触ったとき <p>正しい手の洗い方</p>  <p>石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。</p> <p>○洋式トイレを使用した際は、ふたを閉めてから流すよう指導します。</p>
<p>咳エチケットについて (飛沫感染対策)</p>	<p>○咳エチケットについて指導します。</p> <p>○正しいマスクの付け方を指導します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鼻と口の両方を確実に覆う ・ゴムひもを耳に掛ける ・隙間が無いように鼻まで覆う <p>3つの咳エチケット</p>  <p>電車や職場、学校など人が集まるところでやろう</p> <p>マスクを着用する（口・鼻を覆う） ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う</p> <p>正しいマスクの着用</p>  <p>鼻と口の両方を確実に覆う ゴムひもを耳に掛ける 隙間がないよう鼻まで覆う</p> <p>○マスクの着用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常時着用を基本としますが、十分な身体的距離が確保できる場合は着用の必要はありません。 ・児童生徒本人が暑さで息苦しいと感じた時などは、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導します。
<p>換気について</p>	<p>○常時換気をします。天候上困難な場合（風雨）は、こまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開）、2方向の窓を同時に開けて行うようにします。</p>
<p>身体的距離の確保について</p>	<p>○手洗い場やトイレは、適切な間隔をあけて順番を待つことができるように、床にポイントを示します。</p> <p>○廊下は、片側通行を確実に実施し、密集となることを防ぎます。</p>
<p>児童生徒への指導</p>	<p>○学校生活における一番の感染リスクは、休み時間や登下校など教職員の目が届かないところでの児童生徒の行動です。児童生徒が本感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動を取ることができるよう、指導します。</p> <p>参考：保健教育指導資料「新型コロナウイルス感染症の予防」文部科学省</p>
<p>教職員について</p>	<p>○教職員も児童生徒と同様に感染症対策を行います。</p>

